

令和6年度 学校評価 学校関係者評価結果について

- 目的 本アンケートは、学校運営協議会委員の方々の意見を聞き、桜ヶ丘小学校を「魅力あるよりよい学校」にしていくことを目的としています。
- 対象 桜ヶ丘小学校に在籍する学校運営協議会委員
- 方法 学校評価シートによる回答
- 実施日 令和7年2月27日実施
- 回答率 学校運営協議会委員 5/10名 50%

項 目	経営目標	本年度の重点	評価	講評等
【知】 knowledge 確かな学力	深く考える子の育成	・ アクティブラーニングの推進 ・ 外国語教育 ・ ICT を効果的に活用した授業研究 ・ 読書活動の充実 ・ SDG s への取り組み	B	子どもが深く考えて行動することはなかなか難しいことだと思う。 学校では高学年の子どもは Canva（クラウドデザインツール）で普段の授業や学習参観等で友だちと協力してポスター等を製作し ICT を十分に活用して学習を進めてもらっていることがわかる。 子どもたちがタブレットを活用したツールで学習しているのはよくわかるが、学校が自然豊かな場所にあるので、自然も生かしながら郊外学習等を通した取組もしてもらいたい。
【徳】 moral 豊かな心	明るくやさしい子の育成	・ あいさつの奨励 ・ 「命の大切さ」の教育 ・ 多文化共生教育 ・ 規律指導、場面对応	B	桜ヶ丘小学校の子どもたちは明るく、登下校時はほとんどの子どもが自分から進んであいさつをすると青少年指導委員の方からも聞く。良くなってきたという印象があり、あいさつの奨励を徹底することで児童相互のつながりや信頼関係が育まれ、自己肯定感を高めることになるとのではないかなと思う。 引き続きの大切さを教えてほしい。言霊という言葉があるように言葉を発するときに注意することについて指導してもらいたい。たった一言の傷つく言葉をスマホで平気で SNS やメール等で発信したりすることの怖さがある。タブレットを活用した学習を取り入れているから

				には、情報モラルの指導はしていくべきである。 6年生の教室に行って遊んでもらったとか外遊びの時に話しかけてもらったという話をよく聞き、たてわり遊びの大切さやありがたさがよくわかる。 観光やビジネス等の目的で外国の方が多くなってきているが、子どもたちはどのように対応しているのか知りたい。 子どもをほめることは大切。大人は子どもの手本であり大人も考え学ぶ必要がある。 自立と共生はとても大切。課題については毎年考えて変えていくものなのかは疑問である。
【体】 physical health 健やかな体	心身ともにたくましい子の育成	・ 外遊び、みんなでチャレンジ ・ 基礎体力の向上 ・ 安全教育 ・ 防災教育 ・ こころの健康	B	安全や防災に関する教育はされてはいるが保護者の考え方や生活習慣も関係があるように感じる。 通学路を子どもたちが広がって歩く等の課題は昔からあり教員の登下校時の指導があれば通学路を広がらずに一列に並んで登下校できるのではないかと思う。 スマホを持っている子と持っていない子で友だちが分かれてしまい公園でもスマホを操作して遊んでいるのが気になる。

A…達成できた B…おおむね達成できた C…あまり達成できなかった D…ほとんど達成できなかった